

## 第三セクターの経営情報について

報告対象団体		北九州まちづくり応援団株式会社
会社概要	会社の事業概要	1 指定管理事業 2 共通駐車券事業及び賑わいイベント事務局事業
	資本金額	32,000 千円
	本市の出資額	1,000 千円
	本市の出資割合	3.125 %
	従業員数	38 人
営業報告の要点		<p>小倉地区の中心市街地の賑わい創出のため、次の活動を行った。</p> <p>1 指定管理事業 「小倉城」、「小倉城庭園」、「しろテラス」の指定管理者として、施設の管理・運営を行った。 小倉城は、平成31年3月にリニューアルオープンし、4月の入場者数は前年同月比1.5倍を超え好調にスタートしたが、日韓関係や新型コロナウイルス感染症の影響で入場者数が伸びず、年間入場者数は前々年度比120%の約22.7万人で、目標の23万人に届かなかった。 小倉城庭園は、年間入場者数が前々年度比105%の約7.5万人となった。 しろテラスは、オープニング効果や周辺イベントの波及効果等により売上高が3,000万円となり、目標の2,400万円を達成した。</p> <p>2 共通駐車券事業及び賑わいイベント事務局事業 予定どおり実施した。</p>
収支状況の要点	当期純損失	△29,652 千円
	前年度との比較	<ul style="list-style-type: none"> <li>・売上高 247,038 千円（前年度比 4,393 千円増） （前年度 242,645 千円）</li> <li>・経常損失 △29,444 千円（前年度比 32,731 千円減） （前年度経常利益 3,287 千円）</li> <li>・当期純損失△29,652 千円（前年度比 32,554 千円減） （前年度当期純利益 2,902 千円）</li> </ul>
	その他 （剰余金・欠損金、設備投資、資金調達など）	<ul style="list-style-type: none"> <li>・前期末（平成31年3月31日）の繰越利益剰余金 11,307 千円</li> </ul>
繰越利益剰余金		△18,345 千円
株主総会 （令和2年6月16日 開催）	監査報告	監査役1名が監査を実施した結果、適法かつ正確であった。
	議案	<p>決議事項</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 第1号議案 第15期事業報告及び決算案承認の件</li> <li>・ 第2号議案 取締役及び監査役の選任の件</li> </ul>

(令和2年3月31日現在)

北九州まちづくり応援団株式会社

令和元年度 経営状況報告

令和2年8月19日  
産 業 経 済 局

## 【1号議案】

## 令和元年度事業報告書

〔 自：平成31年4月1日 〕  
〔 至：令和2年3月31日 〕

### 活動の概要および成果

第15期(令和元年度)は、①指定管理事業、②共通駐車券事業、③賑わいイベント事務局事業に絞り、北九州市の重要な観光資源である「小倉城／小倉城庭園／しろテラス」を中心に、行政や周辺の商店街などと連携し、賑わいづくり・活性化に寄与してまいりました。

この度の指定管理事業は5社の共同事業体で運営することと致しました。

まず小倉城につきましては、リニューアル工事が終わり、平成31年3月30日にオープニングを迎えました。リニューアル効果で4月5月は対前々年5割増しの入城者を迎え入れ、上々の滑り出しでした。その後は、日韓問題の影響もあり入城者は伸び悩んだものの、2月まで前々年割れすることはありませんでした。新型コロナの影響は、1月下旬から顕われ、2月にはまずインバウンドが激減、2月下旬から年度末を越えて臨時休館状態が続きました。年間入城者数では、22.7万人と目標には届きませんでした。今年度から新たに運営を担うこととなった「しろテラス」については、4月5月の周辺の各イベント、10月11月は竹あかりや平成中村座などの効果で、お土産の売上を伸ばしました。10月以降は、売り場面積を4倍にしたことで伸張が続き、年間日標をなんとか達成できました。

小倉城庭園につきましては、ほぼ、小倉城と同様の傾向でしたが、もともと韓国からの観光客が多い傾向があったため、日韓問題の影響は顕著でした。年間の入館者数は、7.5万人と目標8.6万人には届きませんでした。

指定管理料の3,300万円減額、しろテラス立上げ投資などで苦しいスタートとなり、収益向上に努めましたが、指定管理事業の損益では、最終的に、約1500万円の赤字となりました。新型コロナ感染拡大防止のための臨時休館の影響に対して、市から約750万円の補償がありましたが、これを営業外収益に入れても経常利益で774万円の赤字となりました。

本部関連事業において、「共通駐車券事業」は新規契約先開拓を積極的に進め、僅かながらも営業収入に貢献できました。「賑わいイベント事業」につきましては、小倉イルミネーションの点灯式での前売券販売は目標達成できませんでしたが、冬の風物詩として、小倉中心街の賑わいづくりに貢献できました。全社共通業務に携わる労務費を本部運営費として処理していますので、本部合計で2170万円の赤字となりました。

以上の事業活動の結果、当社の当年度収入は、2億4704万円と対予算で約1,000万円の未達、日韓問題や年度末の新型コロナ感染拡大防止のための臨時休館などの影響で、全社経常利益は対予算で1,294万円の未達、2,944万円の赤字となりました。



## 損益計算書

北九州まちづくり応援団 株式会社

自 平成31年 4月 1日

至 令和 2年 3月31日

単位：円

科 目	金 額	
<b>【売 上 高】</b>		
専、業 収 入 金	53,846,841	
小倉城関連売上	193,190,883	247,037,724
<b>【売 上 原 価】</b>		
小倉城関連売上原価	24,630,465	
仕 入 高	47,902,136	
* * 合 計 * *	72,532,601	
期 末 棚 卸 高	△3,317,531	69,215,070
<b>売上総利益金額</b>		<b>177,822,654</b>
<b>【販売費及び一般管理費】</b>		<b>216,263,586</b>
<b>営業損失金額</b>		<b>△38,440,932</b>
<b>【営業外収益】</b>		
受 取 利 息	459	
雑 収 入	9,254,638	9,255,097
<b>【営業外費用】</b>		
支払利息割引料	44,312	
雑 損 失	213,778	258,090
<b>経常損失金額</b>		<b>△29,443,925</b>
<b>税引前当期純損失金額</b>		<b>△29,443,925</b>
法人税、住民税及び事業税		208,500
<b>当期純損失金額</b>		<b>△29,652,425</b>

## 販売費及び一般管理費

北九州まちづくり応援団 株式会社

自 平成31年 4月 1日

至 令和 2年 3月31日

単位：円

科 目	金 額
給 与 手 当	18,850,681
賞 与	1,562,000
法 定 福 利 費	840,067
福 利 厚 生 費	345,409
旅 費 交 通 費	6,244
通 信 費	394,340
交 際 費	22,400
減 価 償 却 費	150,783
賃 借 料	607,520
保 険 料	47,209
水 道 光 熱 費	160,275
消 耗 品 費	222,979
租 税 公 課	96,035
事 務 用 品 費	221,449
支 払 手 数 料	71,182
諸 会 費	234,280
新 聞 図 書 費	25,560
会 議 費	233,725
地 代 家 賃	1,360,597
事 業 運 営 費	2,706,298
協 賛 金	110,000
雑 費	853,457
小倉城関連諸経費	187,141,096
合 計	216,263,586

# 小倉城関連諸経費の内訳

小倉城・北九州まちづくり応援団(株)

自 平成31年 4月 1日

至 令和 2年 3月31日

単位：円

科 目	金 額
給 与 手 当	46,007,256
賞 与	5,213,000
雑 給	10,617,574
法 定 福 利 費	10,939,650
福 利 厚 生 費	6,232,141
委 託 費	15,506,313
旅 費 交 通 費	326,666
通 信 費	1,350,512
交 際 費	117,610
減 価 償 却 費	200,000
賃 借 料	1,494,181
保 険 料	287,489
修 繕 費	197,828
水 道 光 熱 費	8,091,587
消 耗 品 費	1,593,786
租 税 公 課	4,034
車 両 費	28,671
地 代 家 賃	575,127
事 務 用 品 費	240,823
広 告 宣 伝 費	18,729,802
印 刷 物 等 作 成 費	2,418,645
支 払 手 数 料	251,732
諸 会 費	154,000
新 聞 図 書 費	17,969
呈 茶 関 連 費 用	5,289,982
文 化 関 連 費 用	21,973,359
維 持 清 掃 費	20,249,314
警 備 業 務 費	1,521,110
保 守 点 検 費	1,643,600
協 賛 金	4,530,000
雑 費	1,337,335
合 計	187,141,096

## 株主資本等変動計算書

北九州まちづくり応援団 株式会社

自 平成31年 4月 1日

至 令和 2年 3月31日

単位：円

**株主資本**

資本金	当期首残高及び当期末残高	32,000,000
-----	--------------	------------

**利益剰余金**

**その他利益剰余金**

繰越利益剰余金	当期首残高	11,306,691
---------	-------	------------

	当期変動額 当期純損失	△29,652,425
--	-------------	-------------

	当期末残高	<u>△18,345,734</u>
--	-------	--------------------

**株主資本合計**

	当期首残高	43,306,691
--	-------	------------

	当期変動額	<u>△29,652,425</u>
--	-------	--------------------

	当期末残高	<u>13,654,266</u>
--	-------	-------------------

## 個別注記表

北九州まちづくり応援団 株式会社

自 平成31年 4月 1日

至 令和 2年 3月31日

この計算書類は、中小企業の会計に関する指針によって作成しています。

### 重要な会計方針に係る事項に関する注記

#### 資産の評価基準及び評価方法

棚卸資産の評価基準及び評価方法

最終仕入原価法を採用しています。

#### 固定資産の減価償却の方法

##### (1) 有形固定資産

定率法を採用しています。

ただし、平成10年4月1日以降に取得した建物（建物附属設備を除く）並びに平成28年4月1日以降に取得した建物附属設備及び構築物については定額法を採用しています。

##### (2) 無形固定資産

定額法を採用しています。

### 計算書類作成のための重要な事項

#### 消費税等の会計処理

消費税等の会計処理は、税抜方式によっています。

### 貸借対照表等に関する注記

#### 有形固定資産の減価償却累計額

有形固定資産の減価償却累計額 576,957円

### 一株当たり情報に関する注記

#### 一株当たりの情報

一株当たりの純資産額 21,334円79銭

一株当たりの当期純利益又は当期純損失 46,331円91銭

## 監査報告書

北九州まちづくり応援団株式会社  
代表取締役 原田 康 様

第15期事業年度（平成31年4月1日から令和2年3月31日迄）の  
会計帳簿ならびに必要な関係書類を綿密に監査いたしました。

その結果、いずれも適法かつ妥当である事を認めます。

以上

令和2年5月29日

北九州まちづくり応援団株式会社

監査役： 庄 山 和 利



2号議案 取締役及び監査役の選任（案）について

(1)株主総会決議事項：取締役および監査役の選任（案）

氏名	生年月日		備考	
利島 康司		取締役	北九州商工会議所 会頭	(留任)
白川 敬		取締役	北九州商工会議所 議員	(新任)
二郎丸 聡夫		取締役	北九州商工会議所 理事・事務局長	(留任)
小松 良明		取締役	小倉中央商業連合会 理事長	(新任)
北里 勝利		取締役	北九州市 小倉北区長	(留任)
原賀 一博		取締役	北九州まちづくり応援団(株) 統括本部長	(留任)
安田 堅太郎		監査役	西鉄バス北九州(株) 代表取締役社長	(新任)

※原田康代表取締役は、第15回株主総会をもって退任。

※甲山博美取締役は、第15回株主総会をもって退任。

※庄山和利監査役は、第15回株主総会をもって退任。

・取締役の任期期間

至 第15回定時株主総会終結時 (令和2年6月25日)

至 第17回定時株主総会終結時 (令和4年6月末予定)

・監査役の任期期間

至 第15回定時株主総会終結時 (令和2年6月25日)

至 第19回定時株主総会終結時 (令和6年6月末予定)

令和2年3月31日現在

## 会社の概要

## (1) 主な事業内容

- ①「中心市街地活性化事業」の推進
- ②まちづくりに関する事業の企画推進、経営、管理、コーディネート
- ③公共施設の管理運営受託

## (2) 事業所

本社

・北九州市小倉北区船場町2-10

指定管理部門（小倉城・小倉城庭園）

・北九州市小倉北区内2番1号（小倉城） 他

## (3) 株式の状況

- ①会社が発行する株式の総数 1,000株
- ②発行済株式の総数 640株
- ③当期末株主数 18名

## (4) 株主の状況

(1株=5万円)

株主名	持株数	出資金額
北九州商工会議所	60株	300万円
株式会社井筒屋	60株	300万円
TOTO株式会社	60株	300万円
株式会社安川電機	60株	300万円
小倉中央商業連合会	60株	300万円
協同組合日専連北九州	60株	300万円
シャボン玉石けん株式会社	60株	300万円
APAMAN株式会社	20株	100万円
第一交通産業株式会社	20株	100万円
西鉄バス北九州株式会社	20株	100万円
中央記念株式会社	20株	100万円
株式会社コレット井筒屋（株式会社井筒屋）	20株	100万円
国際興業株式会社	20株	100万円
株式会社九広	20株	100万円
石川金属工業株式会社	20株	100万円
福岡地所株式会社	20株	100万円
株式会社朝日広告社	20株	100万円
北九州市	20株	100万円
合 計	640株	3200万円

## (5) 取締役および監査役

氏名	生年月日	役職	備考
利島 康司		代表取締役会長	北九州商工会議所 会頭
原田 康		代表取締役社長	北九州商工会議所 顧問
二郎丸 聡夫		取締役	北九州商工会議所 理事・事務局長
甲山 博美		取締役	小倉中央商業連合会 顧問
北里 勝利		取締役	北九州市 小倉北区長
原賀 一博		取締役	北九州まちづくり応援団(株)
庄山 和利		監査役	西鉄バス北九州(株) 代表取締役社長

## 北九州まちづくり応援団(株)

### 第16期令和2年度事業計画

〔 自：令和2年4月1日  
至：令和3年3月31日 〕

#### 活動計画の概要

令和2年度は、前年度に引き続き ①指定管理事業、②共通駐車券事業、③賑わいイベント事務局事業に絞り、北九州市の重要な観光資源である小倉城を中心とした小倉都心部において、行政や周辺の商店街などと連携し、賑わいづくり・活性化に寄与してまいります。

「指定管理事業」につきましては、小倉城及び小倉城庭園の3年間運営管理の2年目となります。当初計画では、1年目の初期投資の効果を期待し、小倉城の入城者数25万人、小倉城庭園の入館者数9.4万人を目標として設定していました。しかしながら、年初から新型コロナウイルスの世界的な感染拡大が続く中、目標を大きく見直さざるを得ない状況となりました。市とも調整の上で、小倉城の入城者数は当初目標の30%の7.5万人、小倉城庭園の入館者数は、当初目標の25%の2.2万人を、それぞれ新たな目標としました。その結果、営業収入は5,500万円となり、指定管理料6,500万円を加えると12,000万円となります。一方の支出は、集客イベントや人件費などを大幅に見直し、対前年で約6,000万円の削減を敢行し、14,500万円まで圧縮します。4月～6月は市の方針に基づき休館としましたので、休業補償として、約2000万円が割り当てられる予定です。雇用調整助成金は約700万円申請していますので、全て予定通りとなれば、ほぼ黒字は確保できる見通しです。なお、今回の新型コロナウイルスの影響は、不可抗力によるものでもありますので、市との基本協定書の条項に「第36条3 不可抗力の発生に起因して乙（運営側）に損害・損失や増加費用が発生した場合、当該費用については合理性の認められる範囲で甲（市）が負担するものとする。」とありますとおり、関連費用につきましては、継続的に市と交渉していき、できる限り、黒字幅を大きくできますよう取り組んでまいります。

「共通駐車券事業」につきましては、引き続き、新規活用店舗や利用駐車場の拡充に努めるとともに、より効果的な事業PRを行い、営業収入5,000万円達成に努めます。

「賑わいイベント事務局事業」につきましては、新型コロナの感染状況も見ながらとはなりますが、冬の小倉中心街を彩る大事なイベントでもあります「小倉イルミネーション2020」を実行委員会事務局として進め、300万円の収入を確保します。

事業全体として、第16期の収入合計は2億円を見込んでおり、経常利益については、ほぼ±ゼロの見通しとなっております。